

岩手県観光復興対策実施計画 平成28年度評価調査

別紙1

都道府県名	岩手県	計画に包摂される市町村	盛岡市、八幡平市、雫石町、矢巾町、花巻市、北上市、奥州市、遠野市、一関市、西和賀町、平泉町、宮古市、大船渡市、釜石市、住田町、山田町、田野畑村、久慈市、普代村、一戸町		
計画期間	平成28年度～平成30年度	評価責任者	商工労働観光部観光課 総括課長 平井 省三		
計画の成果目標(定量的指標)		平成28年度	平成29年度	平成30年度	備考
指標①	外国人延べ宿泊者数(人泊)	147,000	184,000	221,000	
指標②	市町村別外国人入込者数(人回)	180,000	225,000	271,000	
指標③	外国人旅行消費額(千円)	882,733	1,290,000	1,630,000	

1 定量的指標に関連する交付金事業の効果の発現状況		①岩手県の外国人延べ宿泊者数が過去最高となる。(H27:99,360人泊 → H28:125,330人泊 対前年比126.1%) ②岩手県内の外国人観光客の入込が過去最高となる。(H27:121,491人回 → H28:163,230人回 対前年比134.4%)			
2 定量的指標の達成状況	指標①外国人延べ宿泊者数(人泊)	目標値	147,000	目標値の実現状況に関する評価	本県観光地の魅力の発信や、海外の旅行会社等に対する旅行商品の造成・販売拡大の働きかけを行うとともに、県内宿泊施設等に対する無料公衆無線LANの整備などの支援策により、受入態勢の整備促進に取り組んだ結果外国人延べ宿泊者数は、目標には届かなかったものの、過去最高の125,330人泊となった。
		実績値	125,330		
	市町村別外国人入込者数(人回)	目標値	180,000	目標値の実現状況に関する評価	プロモーション事業による情報発信や、ホームページ、観光施設看板などを多言語化するなど受入態勢の整備促進に取り組んだ結果、外国人入込者数は目標には届かなかったものの、過去最高の163,230人回となった。
		実績値	163,230		
	指標③外国人旅行消費額(千円)	目標値	882,733	目標値の実現状況に関する評価	観光庁「訪日外国人の消費動向」によると、岩手県を訪問した外国人1人1泊当たりの旅行消費単価は、H27年8,385円 H28は3,197円となり対前年比38.1%となっている。そのため、外国人旅行消費額は目標には届かなかったが、延べ宿泊者数及び入込者数が増加していることから目標設定段階での単価(H27年 8,385円)で試算すると、1,050,645千円となり、目標を大きく上回っている。
		実績値	400,000		
3 事業の進捗状況	別紙2の個別事業評価調査のとおり				
4 評価方法	「宿泊旅行統計調査(観光庁)」、「訪日外国人の消費動向調査(観光庁)」及び「いわての観光統計(岩手県商工労働観光部観光課)」に基づく評価				
5 中間評価の公表方法	県のホームページにて公表				
6 計画全体の総合評価	岩手県観光復興対策実施計画では、東北観光復興対策交付金を活用して外国人観光客の誘致拡大を図るため、プロモーション事業と受入環境整備に取り組んだ結果、目標値の達成には至らなかったが、外国人延べ宿泊者数及び外国人入込者数は過去最高となった。2020年までに東北6県の外国人宿泊者数を150万人にするためには、引き続き東北各県とも連携しながら各市場の特性に応じた戦略的・効果的なプロモーションの展開や増加が見込まれる外国人個人旅行者にも対応するための受入環境の整備を推進する必要がある。				
7 今後の方針等	岩手県観光復興対策実施計画においては、円滑に事業が進んでいることから、引き続き岩手県観光復興対策実施計画に沿って事業を推進していきたい。また、ラグビーワールドカップや、東京オリンピック、パラリンピックの観戦ツアーに加え、本県へのチャーター便の増加など個人旅行者が増えることが見込まれることから、こうした外国人個人旅行者向けの受入環境整備と観光コンテンツの発掘・磨き上げへの取組を一層強化していくこととする。				